

紙コップ・紙皿の輸入

平成30年10月18日
大阪税関

2017年に輸入が過去最高！さらに2018年はそれを上回るペース！

ポイント

20年前と比べて近畿圏の輸入金額は12.2倍、数量は13.5倍！

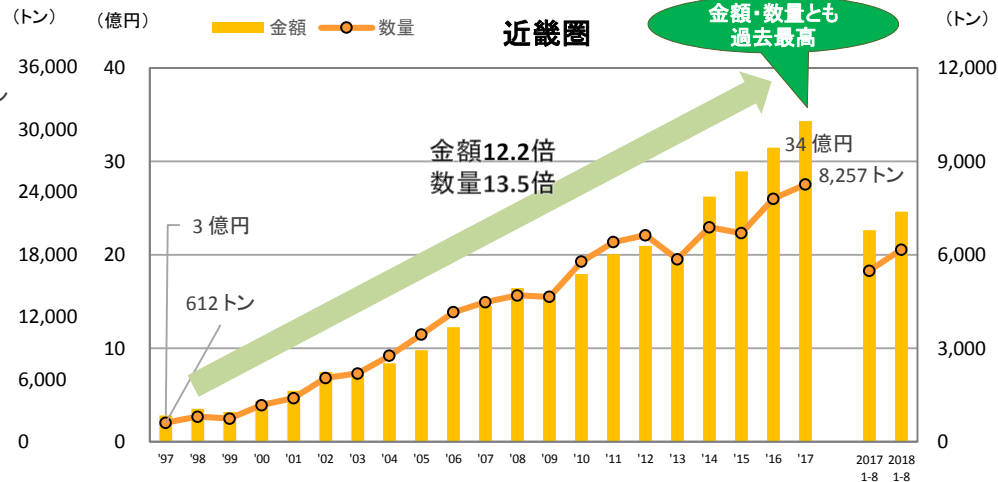
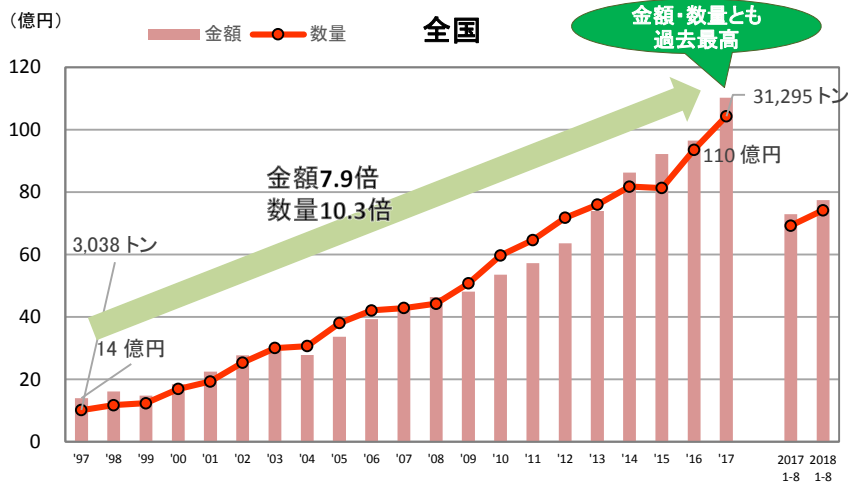
港別で大阪港の金額シェアが全国トップ！



【はじめに】

さわやかな秋風が心地よい季節になりました。バーベキュー、キャンプ、遊園地といったアウトドアで食事を楽しむ機会も増えるこの時期に紙コップ・紙皿の輸入について特集しました。

【金額・数量推移】

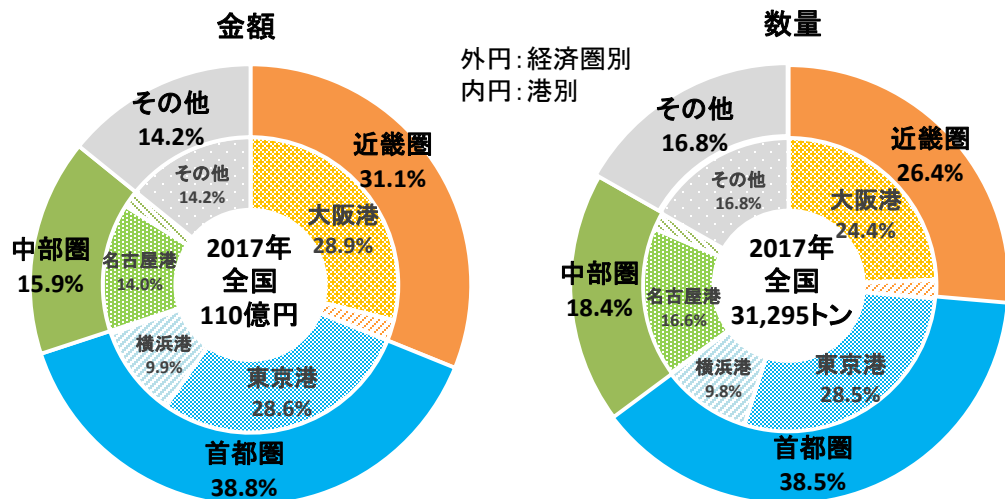


2017年の全国の紙コップ・紙皿の輸入金額は13年連続で増加し110億円(対前年比14.3%増)、輸入数量は2年連続で増加し31,295トン(同11.5%増)と金額・数量ともに**過去最高**を記録しました。20年前(1997年)と比較して金額は7.9倍、数量は10.3倍となっています。

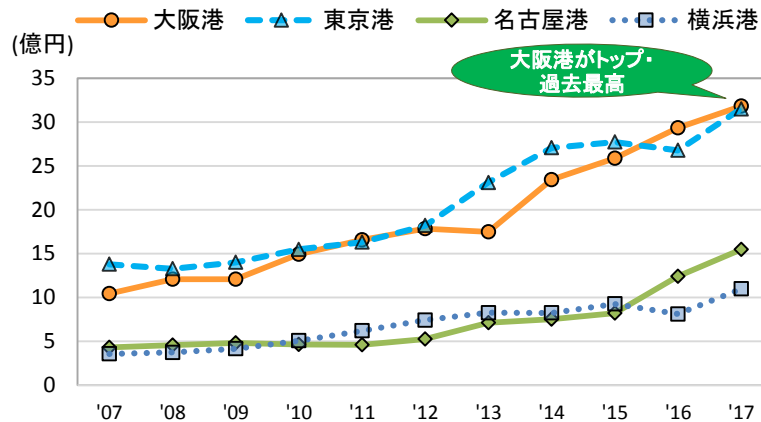
近畿圏においても、2017年の輸入金額は4年連続で増加し34億円(同9.0%増)、数量は2年連続で増加し8,257トン(同5.9%増)と金額・数量ともに**過去最高**を記録しました。20年前との比較では、**金額は12.2倍、数量は13.5倍**となり、**全国よりも高い伸び**を示しています。

2018年1-8月で見ると、全国の金額が前年同期比6.2%増、数量が同7.1%増、近畿圏の金額が同8.8%増、数量が同12.3%増となり、いずれも**2017年を上回るペース**となっています。

【経済圏別港別構成比】

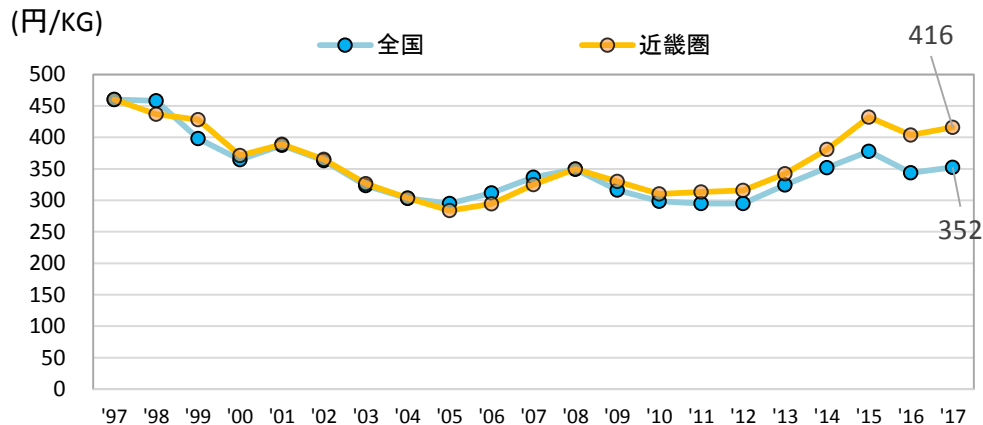


【港別金額推移】



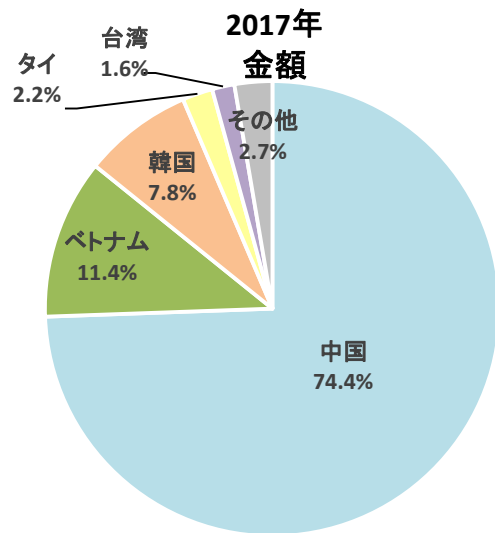
経済圏別で見ると、2017年の近畿圏の輸入金額(34億円)・数量(8,257トン)は首都圏の金額(43億円)・数量(12,036トン)に次いで2位となりました。港別で見ると、**大阪港の金額**が32億円(全国比28.9%)で2016年に続き2年連続の**全国トップ**でした。一方、数量では大阪港(7,621トン)は東京港(8,928トン)に次ぐ2位となりました。金額・数量ともに**大阪港は近畿圏の輸入の9割以上**を占めています。

【全国・近畿圏単価推移】

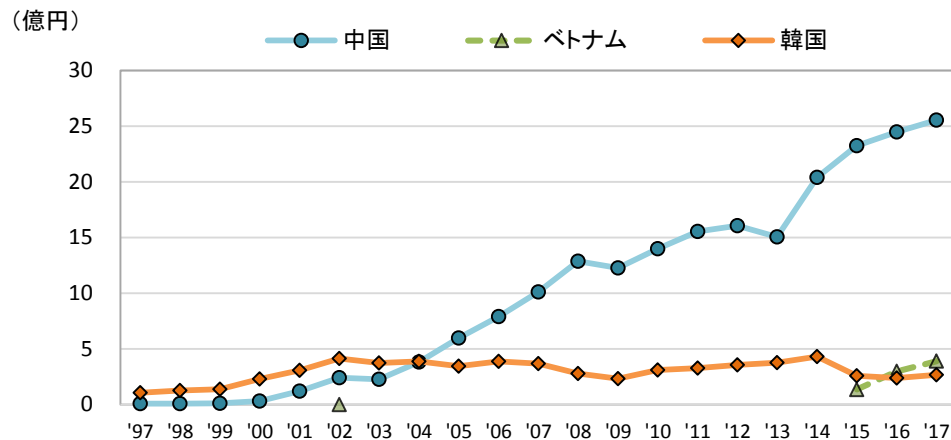


2017年の近畿圏の輸入単価(416円/KG)は全国の単価(352円/KG)と比べて64円高くなっています。業界によると、近畿圏の重量当たりの輸入単価が全国よりも高くなっている理由は、ハロウィンやクリスマス用の商品も含め、デザインを施した製品や、家庭向け商品で小分けのパッケージにしたものを多く取り扱っているためと考えられるとのことです。

【近畿圏国別構成比】



【近畿圏国別金額推移】

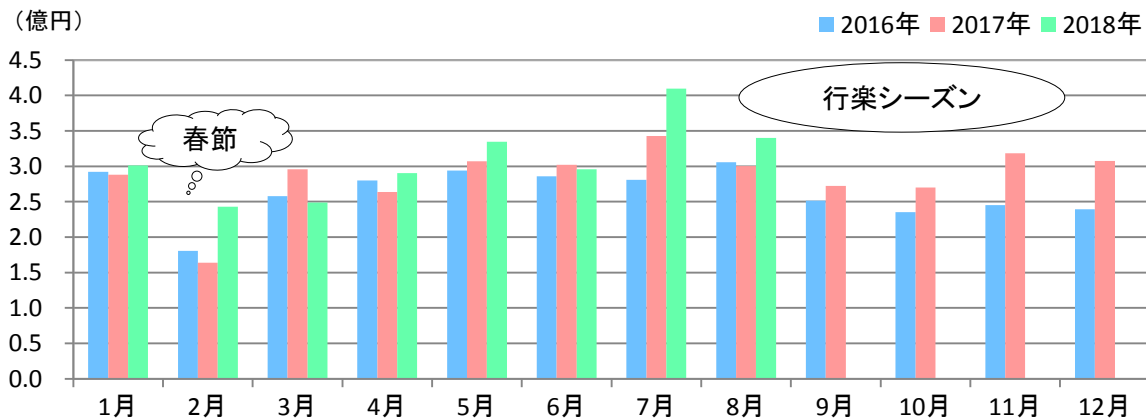


2017年の近畿圏における輸入国別金額構成比は、中国が74.4%（対前年比4.4%増）、ベトナムが11.4%（同30.9%増）、韓国が7.8%（同11.7%増）の順となっています。

国別の金額推移を見ると、2005年に中国が韓国を抜いて1位になって以降2015年までの11年間、中国1位、韓国2位が続きましたが、2016年に初めてベトナムが韓国を上回り2位となりました。

業界によると、求める品質と価格のバランスで、製造可能なメーカーがある国から輸入しているとのこと。

【近畿圏月別推移】



近畿圏におけるここ3年間の輸入金額を月別で見ると、7~8月にピークとなっています。

業界によると行楽シーズンを見据えて輸入が多くなっているそうです。一方、2月に少なくなっているのは、最大の輸入相手国である中国の春節の影響によるものとのことです。

業界の話

- 長期的に輸入が伸び続けている理由は、紙コップ製造工場の海外移転が進んだことに加えて、各輸出国の技術進歩により品質が向上したこと、また価格と品質のバランスも良いことなどが挙げられる。
- コンビニエンスストアでの飲料販売の増加やアウトドアレジャー人気(キャンプ・マラソン・食に関する野外イベント等)などにより、近年紙コップの消費量が増えていることも輸入増加の一因。
- 環境に配慮した非木材紙(例えば^{あし}葦や砂糖の副産物であるバガス等を原料としたもの)を使用した紙皿の輸入も一部ある。
- プラスチックごみについて近年問題となっていることについては、短期的に特に大きな影響は見られないが、長期的に見ると今後プラスチック製の使い捨て食器類の代替として紙コップ・紙皿の需要が増えていくことも考えられるため、新たな仕入れ先や商品を開拓することを視野に入れている。

まとめ

近代的な紙コップの起源は20世紀初頭のアメリカとされています。当時伝染病の原因となっていた共用コップの代替品として使い捨ての紙コップが普及したそうです。一方、日本における飲料用紙コップは1950年代以降、劇場・野球場・遊園地などに広まり、1964年の東京オリンピックや1970年の日本万国博覧会(大阪万博)の会場で使用されたことによってさらに普及していったようです。アウトドア用のみならずコンビニエンスストアやファストフード店、ホームパーティー、また災害時の備蓄として、紙コップ・紙皿は時代とともに形を変えて、私たちの生活になくてはならないものになっています。

- 本特集における「紙コップ・紙皿」は、統計品目番号4823.61-000、4823.69-000「紙製又は板紙製の盆、皿、コップその他これらに類する製品」(2006年以前は統計品目番号4823.60-000)の集計。
- 経済圏は以下の都府県を含む。
近畿圏:大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の2府4県
首都圏:東京、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬、埼玉、山梨の1都7県
中部圏:愛知、岐阜、三重、長野、静岡の5県
- 過去最高は1988年以降の比較による。
- 2017年以前は確定値、2018年1-8月は輸入9桁速報値。

- 本資料を他に転載するときは、大阪税関の資料に基づく旨を注記してください。
- 本資料に関するお問い合わせは大阪税関調査部調査統計課まで。
(電話06-6966-5385)

大阪税関ホームページ(<http://www.customs.go.jp/osaka/>)



データ集

【経済圏別輸入金額・数量推移】

	金額									数量								
	全国			近畿圏			首都圏			全国			近畿圏			首都圏		
	億円	前年比		億円	前年比	全国比	億円	前年比	全国比	トン	前年比		トン	前年比	全国比	トン	前年比	全国比
'97	14.0	134.1%		2.8	143.4%	20.1%	9.6	136.0%	68.5%	3,038	126.8%		612	134.8%	20.1%	2,081	128.0%	68.5%
'98	16.1	115.3%		3.5	125.3%	21.9%	10.4	108.5%	64.5%	3,516	115.7%		808	131.9%	23.0%	2,180	104.8%	62.0%
'99	14.7	91.5%		3.2	90.9%	21.7%	9.4	90.4%	63.7%	3,703	105.3%		748	92.6%	20.2%	2,424	111.2%	65.5%
'00	18.5	125.5%		4.4	136.6%	23.7%	11.3	120.2%	61.0%	5,074	137.0%		1,179	157.6%	23.2%	3,087	127.3%	60.8%
'01	22.5	121.4%		5.5	124.8%	24.3%	13.0	115.2%	57.9%	5,795	114.2%		1,405	119.2%	24.2%	3,298	106.8%	56.9%
'02	27.6	123.0%		7.5	136.7%	27.0%	15.6	120.1%	56.5%	7,609	131.3%		2,048	145.8%	26.9%	4,265	129.3%	56.1%
'03	29.1	105.3%		7.2	95.9%	24.6%	14.9	95.5%	51.3%	9,000	118.3%		2,194	107.1%	24.4%	4,535	106.3%	50.4%
'04	27.8	95.7%		8.4	117.2%	30.2%	12.0	80.5%	43.1%	9,187	102.1%		2,764	126.0%	30.1%	3,851	84.9%	41.9%
'05	33.6	120.8%		9.8	116.6%	29.1%	14.4	120.4%	43.0%	11,399	124.1%		3,449	124.8%	30.3%	4,785	124.3%	42.0%
'06	39.3	116.9%		12.3	125.2%	31.2%	15.4	106.7%	39.2%	12,615	110.7%		4,160	120.6%	33.0%	4,774	99.8%	37.8%
'07	43.3	110.0%		14.6	118.9%	33.7%	17.8	115.2%	41.1%	12,854	101.9%		4,483	107.8%	34.9%	5,022	105.2%	39.1%
'08	46.4	107.2%		16.4	112.8%	35.5%	17.5	98.5%	37.7%	13,274	103.3%		4,699	104.8%	35.4%	4,890	97.4%	36.8%
'09	48.1	103.8%		15.4	93.4%	31.9%	18.3	104.5%	38.0%	15,219	114.7%		4,655	99.1%	30.6%	5,851	119.7%	38.4%
'10	53.5	111.2%		17.9	116.9%	33.5%	20.7	113.4%	38.7%	17,920	117.7%		5,781	124.2%	32.3%	7,043	120.4%	39.3%
'11	57.2	106.9%		20.1	111.9%	35.1%	22.9	110.6%	40.1%	19,389	108.2%		6,410	110.9%	33.1%	7,611	108.1%	39.3%
'12	63.5	111.0%		21.0	104.4%	33.0%	25.8	112.5%	40.6%	21,528	111.0%		6,633	103.5%	30.8%	8,627	113.3%	40.1%
'13	74.0	116.4%		20.1	95.8%	27.1%	31.5	122.2%	42.6%	22,786	105.8%		5,862	88.4%	25.7%	9,262	107.4%	40.6%
'14	86.3	116.6%		26.2	130.6%	30.4%	35.5	112.6%	41.1%	24,519	107.6%		6,888	117.5%	28.1%	9,839	106.2%	40.1%
'15	92.1	106.8%		28.9	110.4%	31.4%	37.2	104.9%	40.4%	24,391	99.5%		6,698	97.2%	27.5%	9,648	98.1%	39.6%
'16	96.5	104.7%		31.5	108.8%	32.6%	35.1	94.3%	36.4%	28,069	115.1%		7,799	116.4%	27.8%	10,266	106.4%	36.6%
'17	110.3	114.3%		34.3	109.0%	31.1%	42.8	122.0%	38.8%	31,295	111.5%		8,257	105.9%	26.4%	12,036	117.2%	38.5%
'17(1-8月)	72.9	113.7%		22.6	104.0%	31.1%	27.7	123.4%	38.0%	20,775	112.6%		5,492	102.0%	26.4%	7,763	118.5%	37.4%
'18(1-8月)	77.4	106.2%		24.6	108.8%	31.8%	30.5	110.0%	39.3%	22,244	107.1%		6,169	112.3%	27.7%	8,728	112.4%	39.2%

【港別輸入金額推移】

(億円)

	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17
大阪港	2.1	2.7	2.3	2.7	3.6	5.7	5.8	6.9	7.8	9.0	10.4	12.1	12.1	14.9	16.6	17.8	17.5	23.4	25.9	29.3	31.8
東京港	5.8	6.0	5.2	7.0	7.7	9.0	10.4	8.8	8.8	11.2	13.8	13.3	14.0	15.5	16.3	18.2	23.1	27.1	27.7	26.8	31.5
名古屋港	0.6	1.0	1.1	1.6	2.0	2.2	3.5	3.9	4.6	4.6	4.3	4.6	4.8	4.6	4.6	5.2	7.1	7.5	8.2	12.4	15.5
横浜港	3.1	3.5	3.5	3.6	4.6	5.7	4.2	3.1	5.3	4.1	3.6	3.7	4.1	5.0	6.2	7.4	8.3	8.2	9.3	8.1	11.0
その他	2.4	2.9	2.5	3.5	4.5	5.1	5.1	5.2	7.0	10.5	11.2	12.7	13.1	13.4	13.6	14.8	18.0	20.0	21.1	19.9	20.5

【経済圏別港別輸入金額・数量】

	2017年		2018年(1-8月)	
	億円	トン	億円	トン
全国	110.3	31,295	77.4	22,244
近畿圏	34.3	8,257	24.6	6,169
大阪港	31.8	7,621	22.3	5,447
近畿圏その他	2.5	635	2.3	721
首都圏	42.8	12,036	30.5	8,728
東京港	31.5	8,928	20.2	5,768
横浜港	11.0	3,078	10.0	2,926
首都圏その他	0.3	30	0.3	34
中部圏	17.5	5,752	10.8	3,502
名古屋港	15.5	5,181	9.3	3,111
中部圏その他	2.0	571	1.4	391
その他	15.6	5,250	11.6	3,846

【近畿圏月別輸入金額推移】

	2016年		2017年		2018年	
	億円	トン	億円	トン	億円	トン
1月	2.9	649	2.9	691	3.0	715
2月	1.8	382	1.6	422	2.4	609
3月	2.6	603	3.0	691	2.5	658
4月	2.8	693	2.6	646	2.9	759
5月	2.9	749	3.1	761	3.3	837
6月	2.9	721	3.0	747	3.0	746
7月	2.8	782	3.4	840	4.1	1,013
8月	3.1	807	3.0	694	3.4	831
9月	2.5	662	2.7	607	-	-
10月	2.4	602	2.7	652	-	-
11月	2.5	587	3.2	795	-	-
12月	2.4	563	3.1	711	-	-

【輸入単価推移】

年	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17
	全国	460	458	398	365	388	363	323	303	295	312	337	349	316	299	295	295	325	352	378	344
近畿圏	460	437	428	371	389	365	327	304	284	295	325	350	330	310	313	316	342	381	432	404	416

【近畿圏国別輸入金額・数量推移】

	全世界		中国		ベトナム		韓国	
	億円	トン	億円	トン	億円	トン	億円	トン
'97	2.8	612	0.1	18	-	-	1.1	272
'98	3.5	808	0.1	16	-	-	1.2	328
'99	3.2	748	0.1	19	-	-	1.4	355
'00	4.4	1,179	0.3	114	-	-	2.3	634
'01	5.5	1,405	1.2	312	-	-	3.1	868
'02	7.5	2,048	2.4	666	0.004	0.5	4.1	1,229
'03	7.2	2,194	2.3	675	-	-	3.7	1,302
'04	8.4	2,764	3.8	1,331	-	-	3.9	1,302
'05	9.8	3,449	6.0	2,241	-	-	3.5	1,160
'06	12.3	4,160	7.9	2,881	-	-	3.9	1,200
'07	14.6	4,483	10.1	3,319	-	-	3.7	1,060
'08	16.4	4,699	12.9	3,727	-	-	2.8	824
'09	15.4	4,655	12.3	3,632	-	-	2.3	873
'10	17.9	5,781	14.0	4,282	-	-	3.1	1,285
'11	20.1	6,410	15.5	4,891	-	-	3.3	1,258
'12	21.0	6,633	16.1	4,952	-	-	3.5	1,414
'13	20.1	5,862	15.0	4,197	-	-	3.8	1,450
'14	26.2	6,888	20.4	5,056	-	-	4.3	1,574
'15	28.9	6,698	23.2	5,054	1.3	487	2.6	883
'16	31.5	7,799	24.5	5,603	3.0	1,141	2.4	803
'17	34.3	8,257	25.6	5,355	3.9	1,469	2.7	1,014

【国別輸入金額・数量(2017年)】

	近畿圏		全国	
	億円	トン	億円	トン
中国	25.6	5,355	57.1	13,830
ベトナム	3.9	1,469	25.9	8,430
韓国	2.7	1,014	14.6	5,399
タイ	0.7	47	7.5	2,633
台湾	0.5	188	1.3	340
その他	0.9	183	3.9	663

(円/KG)